

令和元年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和元年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人 31名、団体 8団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員 5名、女性（婦人）防火クラブ員 3名

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性（婦人）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○ 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- 1 日 時 7月 11日（木） 11時 00分～11時 30分
- 2 場 所 東京消防庁スクワール麹町 3階錦華の間
千代田区麹町六丁目 6番
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、消防庁国民保護・防災部長



連絡先
消防庁総務課
原田係長・樋口事務官
TEL 03(5253)7521 内線 42173
FAX 03(5253)7531

令和元年度

安全功勞者総務大臣表彰

消防功勞者総務大臣表彰

令和元年 7 月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 川 山 和 重 (北海道・札幌危険物安全協会 副会長) ----- 1
- 八 木 彌 生 (宮城県・宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 前副会長)
- 佐 藤 映 史 (茨城県・東海村危険物安全協会 会長) ----- 2
- 戸 倉 正 喜 (茨城県・元 茨城県消防設備協会 理事)
- 渋 井 美智枝 (栃木県・栃木県婦人防火クラブ連合会 副会長) ----- 3
- 加 藤 正 幸 (埼玉県・飯能地方防火安全協会 会長)
- 柳 瀬 博 太 (千葉県・浦安市防火安全協会 前会長) ----- 4
- 荒 井 昇 (東京都・池袋災害予防協会 会長)
- 小野瀬 二 郎 (東京都・江戸川防火防災協会 会長) ----- 5
- 公 木 義 二 (東京都・練馬災害予防協会 会長)
- 西 脇 孝 子 (新潟県・新潟県女性防火クラブ連絡協議会 副会長) --- 6
- 河 上 一 子 (富山県・富山県女性防火クラブ連絡協議会 相談役)
- 足 立 常 孝 (岐阜県・高山市危険物安全協会 会長) ----- 7
- 佐 藤 恵美子 (岐阜県・関市女性防火クラブ 会長)
- 木 村 淑 恵 (静岡県・静岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長) --- 8
- 若 山 好 孝 (三重県・名張市少年消防クラブ運営協議会 副会長)
- 湯 浅 康 平 (京都府・下京防火協会 会長) ----- 9
- 大 仲 康 暉 (大阪府・西防災協会 会長)
- 喜 馬 通 博 (大阪府・東大阪市中防火協力会 副会長) ----- 10
- 金 銅 俊 二 (大阪府・柏羽藤火災予防協会 副会長)
- 面 田 忠 雄 (大阪府・摂津市防火安全協会 理事) ----- 11
- 山 本 修 三 (大阪府・福島危険物防火協議会 会長)
- 和 田 末 子 (山口県・貴船本町自治会婦人防火クラブ 会長) ----- 12
- 荒 牧 泰 浩 (福岡県・粕屋南部地域防災協会 会長)

- 岩野文敏 (福岡県・北九州市消防設備士会 会長) ----- 13
- 大塚直 (福岡県・みやま市防災協会 会長)
- 副田廣明 (福岡県・北九州市防災協会 八幡東支部長) ----- 14
- 細木茂 (福岡県・北九州市消防設備士会 理事)
- 米井良一 (福岡県・北九州市消防設備士会 前理事 (前事務局長)) 15
- 吉村圭四郎 (熊本県・熊本市防災協会 会長)
- 枝元倫介 (宮崎県・宮崎防火管理等協議会 顧問) ----- 16

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者 (団体の部)

- 上野防火管理研究会 (東京都) ----- 17
- 山王保育園幼年消防クラブ (神奈川県)
- 大野町女性防火クラブ (岐阜県) ----- 18
- 東灘小学校区防災福祉コミュニティ (兵庫県)
- 星取町婦人防火クラブ (長崎県) ----- 19
- 医療法人 健生会 明生病院 (熊本県)
- 医療法人財団聖十字会 聖ヶ塔病院 (熊本県) ----- 20
- 医療法人 清和会 (熊本県)

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者 (消防団員)

- 守田則雄 (北海道・長万部町消防団 団長) ----- 21
- 周防彦宗 (秋田県・由利本荘市消防団 団長)
- 松生喜代志 (石川県・羽咋市消防団 団長) ----- 22
- 世古勝典 (三重県・紀北町消防団 団長)
- 渡邊真二 (兵庫県・神戸市水上消防団 団長) ----- 23

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性（婦人）防火クラブ員）

- 安 部 千鶴子
（秋田県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）----- 24
- 川 野 典 子
（大分県女性防火・防災クラブ連合会 副会長）
- 上 原 美代子
（沖縄県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）----- 25

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

かわ やま かず しげ
○川 山 和 重

札幌危険物安全協会 副会長

現住所 北海道石狩市

平成14年に、札幌西区危険物安全協議会の会長に就任して以来、その卓越した指導力と行動力により、会の育成発展に尽力している。また、各種火災予防啓発運動への参画や研修会の開催等において、各種消防関係団体と連携・協力し、効果的に施策を進め、地域社会への防火・防災に関する知識・技術の向上に努めている。

さらに、平成28年からは、札幌市内の各区協議会の組織再編に伴い発足した、札幌危険物安全協会の副会長に就任し、西区はもとより札幌市の危険物施設における法令遵守、保安確保及び防火思想の普及啓発活動など精力的に従事しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

や ぎ やよ い
○八 木 彌 生

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 前副会長

現住所 宮城県仙台市

昭和49年、下川前婦人防火クラブ設立時より同クラブの発展に寄与するとともに、平成19年に仙台市宮城地区婦人防火クラブ連絡協議会会長、さらに、平成25年に仙台市婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任し、地域の防火防災意識の高揚に大いに貢献をしている。

平成25年の宮城県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任後は、地元のみならず、県内外の婦人防火クラブと意見交換を図り、優良活動の情報収集に励み、地域の防火防災意識の向上に多大な貢献をしている。

また、日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、地域社会における防火防災体制づくりに多大な貢献をしており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^さ佐^{とう}藤^{えい}映^じ史

東海村危険物安全協会 会長

現住所 茨城県那珂郡

平成5年4月に東海村危険物安全協会理事に就任、平成14年には副会長を歴任し、各事業の推進を図るとともに、豊富な識見と卓越した指導力により、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発の推進に尽くした。

また、平成20年4月には東海村危険物安全協会会長の要職に就任し、協会の運営に対し率先して協力し指導力を発揮するなど、人望も厚く、自ら法令を遵守し危険物の安全管理の徹底を図り、施設の保安管理においても努力を怠らず、資質の向上を図る姿勢は、地域住民の安全で安心して暮らすことのできるまちづくりの推進に多大な貢献をしている。

○^と戸^{くら}倉^{まさ}正^{よし}喜

元 茨城県消防設備協会 理事

現住所 茨城県常陸太田市

平成5年、茨城県消防設備協会理事に就任し、25年の多年にわたり協会の組織強化を図りつつ、各種事業の推進、展開に積極的に努めるとともに、その豊富な知識と卓越した指導力により、会員事業所の育成・技術の向上に尽力し、協会及び消防防災業界の発展に寄与した。特に、協会の海外研修の企画担当として、海外消防機関との交流を重ねるとともに、「点検済表示制度」の紹介を行う等、防火安全思想の普及にも貢献した。

また、自治体が実施する防災訓練に積極的に参加し、防災用品の展示・説明を行うとともに、廃消火器の回収と適正なリサイクル推進に努める等、地域住民の防火防災意識の向上にも多大な貢献をしている。

○^{しづ}渋 ^い井 ^{みちえ}美智枝

栃木県婦人防火クラブ連合会 副会長

現住所 栃木県那須郡

平成15年4月1日、那須町婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、平成17年4月1日に会長となり、地域防災のリーダーとして豊富な識見と卓越した指導力により那須町の婦人防火クラブ連絡協議会の育成発展に尽力している。

また、同年には栃木県婦人防火クラブ連合会の理事となり、平成25年4月1日に副会長に就任されるなど、栃木県婦人防火クラブ連合会の要職に就き、防火思想の普及・啓発に尽力している。那須町はもとより栃木県全体の防火・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全に多大な貢献をしている。

○^か加 ^{とう}藤 ^{まさ}正 ^{ゆき}幸

飯能地方防火安全協会 会長

現住所 埼玉県飯能市

平成10年6月、飯能地方防火安全協会副会長に、平成26年4月に会長に就任し、現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

相互扶助精神のもと、消防署、消防団と連携して屋内消火栓操法大会の主催、幼年消防クラブの支援及び各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置促進に取り組んでいる。

さらに、会員事業所の防火管理及び危険物の安全管理の普及・啓発に尽力し、地域の安心・安全の街づくりにも寄与するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をしている。

○柳^{やな} 瀬^せ 博^{ひろ} 太^た

浦安市防火安全協会 前会長

現住所 千葉県市川市

平成13年4月に浦安市防火安全協会の理事に、平成15年4月より会長に就任し、現在まで18年間の長きにわたり、防火思想の普及に尽力した。

この間、防火対象物及び危険物に関わる火災予防のため、毎年6月には、危険物施設を保有する事業所を対象にした危険物取扱者安全講習会を開催し、3月には、火災予防を目的とした防火安全講習会の実施、市消防本部主催の屋内消火栓操法大会への協賛など、防火技術の向上と危険物安全管理の向上を図るとともに、自主防災体制を確立し、市の消防防災力の強化に多大な貢献をしている。

○荒^{あら} 井^い 昇^{のぼる}

池袋災害予防協会 会長

現住所 東京都豊島区

昭和42年9月、池袋災害予防協会に入会以来、理事、会計、副会長を歴任、平成2年4月には会長に就任した。

この間、池袋消防少年団の初代団長を務め、平成2年から池袋防火管理者研究会顧問、さらに、平成6年4月には池袋消防懇話会相談役に就任するなど、多年にわたり防火・防災思想の普及に努め、豊富な見識と卓越した指導力、積極的な行動力により会の育成発展に尽力している。

特に、池袋消防署と連携して開催する防火防災訓練や自衛消防審査会等の各種行事において、消防署管内の豊島区民と事業者に対し積極的に働きかけ、地域防災行動力の向上を図っている。

○^{おのせ}小野瀬^{じろう}二 郎

江戸川防火防災協会 会長

現住所 東京都江戸川区

平成7年7月、江戸川防火防災協会に入会以来、平成15年4月には副会長、平成19年4月には会長に就任し、この間、多年にわたり防火・防災思想の普及に努め、豊富な見識と卓越した指導力、積極的な行動力により会の育成発展に尽力している。

特に、消防署と連携して開催する住宅防火防災診断や合同防災訓練等の各種行事において、江戸川消防署管内の江戸川区民と事業者に対して積極的に働きかけて、地域防災行動力の向上を図っている。

また、公益財団法人東京連合防火協会理事及び消防関係団体の要職に就き、地域全体の安心・安全に多大な貢献をしている。

○^{きみ}公^き木^{よし}義^{つぐ}二

練馬災害予防協会 会長

現住所 東京都練馬区

昭和48年4月に練馬災害予防協会に入会、平成3年3月に常任理事、平成5年4月に副会長に、平成19年5月には会長に就任し現在に至る。その間、地域の危険物施設の安全対策を推進するため様々な事業を展開し、豊富な見識と卓越した指導力により協会の育成発展に寄与している。

特に、危険物保安関係の経験も豊富で、地域の危険物施設にも積極的に情報提供するなど地域での信頼も厚い。

また、消防署が実施する危険物安全週間や火災予防運動などの各種行事開催時には、積極的に参画し、防火・防災思想の普及啓発に尽力するなど地域防災への熱意も強く、地域の安心・安全を実現すべく幅広い活動を続けている。

にし わき たか こ
○西 脇 孝 子

新潟県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 新潟県五泉市

氏は、平成元年11月、五泉はやで婦人防火クラブ会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。平成15年4月からは五泉市消防団女性部長としても活躍、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し防火指導、地区ごとの防火防災講演会に積極的に協力、五泉市民の防火防災意識の高揚に貢献した。

さらに、平成23年5月には新潟県女性防火クラブ連絡協議会の副会長も就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、五泉市を初めとする新潟県内の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

かわ かみ かず こ
○河 上 一 子

富山県女性防火クラブ連絡協議会 相談役

現住所 富山県富山市

平成元年、総曲輪校下婦人防火クラブの設立に尽力し、それ以来、地域での防火活動に積極的に参加した。平成6年に同クラブ委員長に、平成14年に富山地区女性防火クラブ連絡協議会会長に、平成29年には富山県女性防火クラブ連絡協議会会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成29年の富山県女性防火クラブ連絡協議会会長就任後は、各種講演会や研修会を企画立案するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

あ だち つね たか
○足 立 常 孝

高山市危険物安全協会 会長

現住所 岐阜県高山市

平成8年に高山市危険物安全協会理事に就任し、平成19年には副会長に、平成24年には会長に就任し現在に至る。その間、地域の危険物施設の安全対策を推進するため様々な事業を展開し、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に寄与している。

特に、危険物保安の経験が豊富で、危険物施設の事故防止を図るためには自主保安体制の確立が最も重要であることを唱え、積極的な情報提供や消防機関へ油処理資機材の寄贈による備蓄を推進、地域事業者の防災意識の高揚、自主保安体制の確立に大いに貢献している。

また、平成24年からは飛騨地区危険物安全協会連絡協議会会長、岐阜県危険物安全協会副会長に就任し、県下全般に亘り危険物施設の保安管理、安全思想の普及、発展その充実に多大な貢献をしている。

さ とう えみ こ
○佐 藤 恵美子

関市女性防火クラブ 会長

現住所 岐阜県関市

平成8年から関市女性防火クラブのクラブ員として、地域での防火活動や県域を越えた先進地視察研修等に積極的に参加して、識見を深めていく姿勢は他の模範である。平成17年の市町村合併後には、組織再編に尽力する当時の会長を副会長としてよく補佐し、クラブの発展に寄与した。

その後、平成19年からは関市女性防火クラブの会長に、平成22年からは岐阜県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任して以来、幅広い要職経験を活かして、防災関係団体に限らず、地域の他団体と連携した各種防災研修に積極的に携わっていく等、地域防災力向上の牽引者として多大な貢献をしている。

○^き木 ^{むら}村 ^{よし}淑 ^え恵

静岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長
現住所 静岡県磐田市

平成17年4月、磐田市女性防災クラブ連絡会会長に就任以来、女性目線における豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。自ら全国各地の研修や交流会に積極的に参加し、更に被災地には自主的に赴き支援活動を行うなど、常日頃から自己研鑽に励むとともに献身的な姿勢は、地域の住民から厚い信頼と尊敬を受けている。

また、平成23年4月には静岡県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任されると、県内の女性防火クラブ員を対象とした研修会や静岡県消防学校体験入校などの事業に毎年積極的に参加し、防火防災意識高揚のための活動、県下女性防火クラブの育成、活性化において多大な貢献をしている。

○^{わか}若 ^{やま}山 ^{よし}好 ^{たか}孝

名張市少年消防クラブ運営協議会 副会長
現住所 三重県名張市

昭和56年に桔梗が丘少年消防クラブ指導者に就任、昭和57年からは蔵持少年消防クラブの指導者も務め、また、単位少年消防クラブ相互の運営調和を図るための組織である名張市少年消防クラブ運営協議会の会長などの役員を務め、クラブ間のつながりやクラブ員同士の友情を築いた。現在は副会長として他の指導者と協力しながら組織の発展に尽力し、草創期から現在に至るまで卓越した指導力をもって市全体の防火、防災思想の高揚に大きく寄与している。

子どもたちの指導にあたっては、健全に成長し、安心、安全に暮らせることを第一に考え、地元や小学校の活動などにも参画し子どもたちを見守り続けている。

また、名張市消防団時代の災害現場での活躍や後進の指導育成により、退団後の地域における信頼も厚く、住民同士又はいろいろな組織間のつながりを築き、防災、減災の実現に多大な貢献をしている。

ゆ あさ こう へい
○湯 浅 康 平

下京防火協会 会長

現住所 京都府京都市

平成24年、下京防火協会会長に就任し、以後7年間にわたり、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力し、消防行政に対する深い理解から、区内の防火・防災思想の普及啓発に努めた。また、平成30年度には京都市防火協会連絡協議会の議長に就任し、大所帯の防火協会をまとめてきた自身の経験と実績を生かし、市内全域の事業所防火防災事業の推進及び市民に対する防火防災思想の普及啓発に尽力した。区内の事業所だけではなく、地域住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

おお なか みち あき
○大 仲 康 暉

西防災協会 会長

現住所 大阪府堺市

平成11年、堺市浜寺防災協会（現西防災協会）理事に就任し、平成26年に西防災協会の副会長、平成29年に会長を歴任、現在に至るまで多年にわたり、春、秋の全国火災予防運動、119番の日、歳末、文化財防火デーなどの行事でリーダーシップを遺憾なく発揮し、地域住民に呼び掛け、防火・防災意識の高揚に大いに貢献している。

また、地域住民からの信頼も厚い大仲氏は、安心・安全な町づくりのため、放火防止対策を推進し、様々な放火防止のノウハウを地域住民に浸透させている。その活動は、西区のみならず、他の地区にまで普及し、堺市全域の安心・安全な町づくりに多大な貢献をしている。

○^き喜^ば馬^{みち}通^{ひろ}博

東大阪市中防火協力会 副会長
現住所 大阪府大阪市

平成3年4月に東大阪市中防火協力会の理事に、また、平成26年5月21日に東大阪市中防火協力会副会長並びに中危険物取扱事業所部会会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに、平成2年4月1日に医療法人寿山会喜馬病院の院長に就任、その後、平成20年6月1日に同院の理事長に就任され、医療従事者の観点から自主防災体制の重要性を各事業所に訴えかけるなど、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{こん}金^{どう}銅^{しゅん}俊^じ二

柏羽藤火災予防協会 副会長
現住所 大阪府藤井寺市

氏は、平成20年より柏羽藤火災予防協会広報部会長に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力により、火災予防の普及啓発活動を主とした会の育成発展に尽くした。

平成26年には柏羽藤火災予防協会副会長に就任し、同会の消防協力体制の強化をはじめ、柏原市、羽曳野市、藤井寺市の消防並びに防災の指導者として精力的に活動を展開しており、地域住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全の推進に多大な貢献をしている。

にし だ ただ お
○ 田 忠 雄

摂津市防火安全協会 理事

現住所 大阪府摂津市

平成11年5月に摂津市防火安全協会理事に就任し、役員として長年にわたり積極的に火災予防活動を展開しており、当協会会員に対する防火防災活動のみならず、春・秋の火災予防運動における地域啓発活動や防火フェア等を通じて、地域住民に対する防火啓発活動にも積極的に取り組み、その実務リーダーとしての職責を果たしている。

協会の事業執行の牽引役として、その手腕を発揮し、現在、協会の加盟会員数は、約260事業所を数え、これら事業所等が一丸となって「安心・安全のまちづくり」に寄与しており、本市の火災減少に多大な貢献をしている。

やま もと しゅう ぞう
○ 山 本 修 三

福島危険物防火協議会 会長

現住所 兵庫県宝塚市

平成2年、福島危険物防火協議会副会長、平成14年に福島危険物防火協議会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに、平成20年に大阪市内の25の危険物防火協議会の集合体である大阪市危険物防火連合協議会会計理事、平成22年には同連合協議会副会長、平成26年には会長に就任するなど、消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、福島区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^わ和^だ田^{すえ}末^こ子

貴船本町自治会婦人防火クラブ 会長

現住所 山口県下関市

昭和62年貴船本町自治会婦人防火クラブ会長に就任以来、防災フェアや消防出初式、春・秋季火災予防運動における街頭広報等、消防における諸行事に率先して参加するとともに、住宅用火災警報器の設置促進、消火訓練や高齢者世帯を中心とした住宅防火診断等、地域の防火防災活動に積極的に取り組み、地域住民の防火意識の高揚及び隣保共助体制の確立に努めている。

また、平成16年からは下関地区婦人防火クラブ連合会副会長に就任し、各クラブ間の連絡調整をはじめクラブ連合会の運営、消防行事への参加督励等、自身の所属するクラブはもとより、各クラブの活動の活性化に大きく貢献しており、消防行政に極めて協力的である。

○^{あら}荒^{まき}牧^{やす}泰^{ひろ}浩

粕屋南部地域防災協会 会長

現住所 福岡県糟屋郡

平成19年4月、粕屋南部地域防災協会の理事に就任し、平成25年4月から同協会副会長に就任、その後平成29年4月より会長に就任し、以来豊富な識見と卓越した指導力により各事業所の防災体制の強化促進及び地域の災害防止を目指し、協会による活動を多岐にわたり積極的に取り入れ、協会の育成発展に努めている。

また、平成29年6月には、福岡県危険物安全協会の理事に就任され、同協会の運営や事業にも積極的に携わり、粕屋南部地域はもとより福岡県全体における安心・安全なまちづくりと防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。

○^{いわ}岩 ^の野 ^{ふみ}文 ^{とし}敏

北九州市消防設備士会 会長

現住所 福岡県北九州市

平成10年に北九州市消防設備士会理事に就任、その後、平成28年には副会長、令和元年5月には会長に就任し、現在に至るまで豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力により団体の発展に尽力した。

同団体が主催する消防設備士試験準備講習会や法定講習会等では、自ら先頭に立ち、会員に消防法令遵守の認識を確認させるほか、社会的影響の大きな火災や災害が発生した場合は、消防と協力して防火対象物における防火対策の推進に尽力した。

また、平成10年に北九州市防災協会代議員、さらに、平成29年に福岡県消防設備安全協会の評議員に就任し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{おお}大 ^{つか}塚 ^{ただし}直

みやま市防災協会 会長

現住所 福岡県みやま市

平成2年から三山地区防災協会（みやま市防災協会の前身）理事、平成18年に副会長、平成22年に会長に就任し、役員として長きにわたり会の発展に尽力している。

ひとり暮らし高齢者世帯への住宅用火災警報器設置推進や防災講習会を実施し、これらの活動を自ら率先して呼びかけるなど、地域住民の防火・防災意識の高揚に努めている。

また、平成23年より福岡県危険物安全協会の監事に就任し、危険物の安全管理の徹底と災害の防止に努め、事業の健全な発展に大きく寄与している。

さらに、目配り、気配り、心配りを大切にする人柄は市内の事業所だけではなく、地域住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

○^{そえ}副 ^だ田 ^{ひろ}廣 ^{あき}明

北九州市防災協会 八幡東支部長
現住所 福岡県遠賀郡

平成16年、北九州市防災協会の八幡東支部長に就任し、平成22年には北九州地区・白島地区特別防災区域協議会幹事長に就任した。地域の防災問題について会員事業所及び北九州市消防局と協議し、地域全体としての自主防災体制確立に尽力し、その功績は、誠に顕著である。また、協会の会員以外の病院・社会福祉施設にも防災研修会を開催するなど、地域防災力の向上に努めており、市民の防災意識高揚に多大な貢献をしている。

○^{ほそ}細 ^き木 ^{しげる}茂

北九州市消防設備士会 理事
現住所 福岡県北九州市

平成11年に北九州市消防設備士会監事に就任、その後、平成24年には副会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力により団体の発展に尽力した。

同団体が主催する消防設備士試験準備講習会や法定講習会等では、自ら先頭に立ち、会員に消防法令遵守の認識を確認させるほか、社会的影響の大きな火災や災害が発生した場合は、消防と協力して防火対象物における防火対策の推進に尽力した。

また、平成21年6月に福岡県消防設備安全協会理事に就任、さらに、平成28年に北九州市防災協会の代議員に就任し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

よね い りょう いち
○米 井 良 一

北九州市消防設備士会 前理事（前事務局長）

現住所 福岡県北九州市

平成11年に北九州市消防設備士会監事に就任、また、平成20年には北九州市消防設備士会理事、併せて事務局長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力により団体の発展に尽力した。

同団体が主催する消防設備士試験準備講習会や法定講習会等では、自ら先頭に立ち、会員に消防法令遵守の認識を確認させるほか、社会的影響の大きな火災や災害が発生した場合は、消防と協力して防火対象物における防火対策の推進に尽力した。

また、平成29年に福岡県消防設備安全協会理事に就任し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

よし むら けいしろう
○吉 村 圭四郎

熊本市防災協会 会長

現住所 熊本県熊本市

平成16年5月に熊本市防災協会理事に就任し、平成24年4月の熊本市政令指定都市移行と同時に会長となり、平成28年熊本地震では被災、体験の中から、地震の検証、対策、そして復興に向け、豊富な見識と卓越した指導力により、自ら先頭に立って会員及び地域住民への防火、防災思想の普及啓発や災害発生の防止、対応力の向上に努めるなど、協会の育成発展を通じて社会の防火・防災に全力を傾注しており、その功労は誠に顕著である。

また、火災予防運動等に対する助成活動及び防災作品や功労者等の表彰による防火・防災思想の普及啓発など、事業所、地域住民、消防機関が一体となって災害に強い人づくり、街づくりの推進を図れるよう、住民協働の増進に多大なる貢献をしている。

えだ もと りん すけ
○枝 元 倫 介

宮崎防火管理等協議会 顧問

現住所 宮崎県宮崎市

昭和62年に宮崎地区防火管理者等協議会（平成25年宮崎防火管理等協議会に改名）発足と同時に監事、平成6年から会長に就任。24年の永きにわたり会長を務め、当協議会のスローガンである「自分達の職場は自分達で守る」をモットーに防火・防災思想の普及・啓発に努める等、会の育成発展に尽くした。また、屋内消火栓操法大会、防火祈願祭など消防機関が行う各種行事に積極的に参加するなど、防火・防災意識の高揚に寄与した。

平成30年からは顧問として、後進の指導等に尽力し、地域住民の信頼も厚く、安心・安全のまちづくりに多大な貢献をしている。

団体の部

うえのぼうかかんりけんきゅうかい
○上野防火管理研究会

(会長 川瀬 タカ)

所在地 東京都千代田区

昭和38年6月の設立以来、今日まで上野地域の防火管理者相互の研究団体として活動を続け事業所の防火管理者として必要な知識や技術の習得、消防用設備等の適正な維持管理をはじめ、職場の防災教育、自衛消防訓練等に対して情報提供やアドバイスをを行い、防火対象物の防火安全の徹底と地域住民の、防火防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

また、放火火災の防止及び火災による死者の発生を防止するため、チラシを作成し火災予防に活用し、地域の火災予防を推進するなど、安心・安全な街づくりの精神に基づく活動が、火災件数の減少に多大に寄与している。

さんのうほいくえんようねんしょうぼうくらぶ
○山王保育園幼年消防クラブ

(園長 都築 顕道)

所在地 神奈川県小田原市

昭和60年7月2日に幼年消防クラブを結成以来、火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に積極的に活動している。また、幼年消防クラブの運営指導について研究し、助言し、クラブの健全な育成発展に寄与する目的として平成7年4月1日設立された「小田原市幼年防火委員会」に設立当初から加盟し、平成7年度から平成14年度までの8年間会長を務め、さらに平成24年度から現在までの7年間副会長を務め、幼年消防クラブの育成発展に努めている。

幼年消防クラブとして、任命式、消防車お絵描き会、花火教室、消防車お絵描き展示会など、広報活動等に積極的に参加し、多くの市民に火災予防を呼びかけ防火思想の高揚と火災の減少に多大な貢献をしている。

おののちようじょせいぼうかくらぶ
○大野町女性防火クラブ

(隊長 藤原 康美)

所在地 岐阜県揖斐郡

昭和53年に大野町婦人消防隊として結成(平成13年から大野町女性防火クラブ)して以来、揖斐郡消防本部及び大野町消防団と密接な連絡をとりあい、火災時や災害時の炊き出しなどの実施や、消防機関や県などが実施する各種研修会及び町総合防災訓練等の諸行事にも毎年積極的に参加し、防火・防災意識の高揚を図っている。また、入隊者全員が普通救命講習を積極的に受け、応急手当の知識・技術の取得に努める等、地域の防火防災対策に貢献する実績は他の模範である。

ひがしなだしょうがっこうぼうさいふくしこみゆにてい
○東灘小学校区防災福祉コミュニティ

(会長 岸本 昌市)

所在地 兵庫県神戸市

平成9年9月28日に結成後、内外の団体と連携・協力して防災及び福祉の活動に取り組んでいる。地域の一部に津波被害が予想されるため、コミュニティ安全マップや地域津波防災マップの作成、災害時要援護者支援のマニュアル化、電柱に避難経路を示す表示板等の設置、隣接する防災福祉コミュニティと合同で津波避難訓練を実施している。さらに地元の大学生たちと連携して総合防災訓練を子どもたちでも参加しやすい内容に変更、2年にわたるワークショップを経て避難所運営キットを完成させ、毎年1月には小学校で防災学習『1.17は忘れない』を実施するなど、震災の教訓を次世代へ継承する取り組みを積極的におこなっている。

ほしとりまちふじんぼうかくらぶ
○星取町婦人防火クラブ

(会長 佐藤 敏子)

所在地 長崎県長崎市

昭和48年1月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、日頃から火災・災害を想定し、近隣婦人防火クラブや自治会等の関係団体と一致協力して訓練等を実施し、地域住民の防火思想の普及向上を図っている。

また、防火チラシやパンフレット等を各世帯へ回覧、配布するなどして地域の防火意識の高揚を図るとともに、定期的に地域の空き家を点検するなど、住宅防火対策を積極的に推進している。

さらに、高齢者を含む地域住民の安全確保のために応急処置等の訓練を定期的に受講するなど、多大な貢献をしている。

いりょうほうじん けんせいかい めいせいびょういん
○医療法人 健生会 明生病院

(理事長 水足 秀一郎)

所在地 熊本県熊本市

明生病院は234のベッドを有する単科精神病院で、普段から設備面、防火面での安全性を第一に考え、管理指導に努めている。

当院は職員の7割強が防火管理資格を有しており、防火委員会を設置し、毎月各部署の委員による委員会を開催、また消防設備の取り扱い訓練を行い、万が一の時でも操作ができるようにしている。

当院は24時間患者がいるため、万一火災が出れば大惨事になる可能性があることから、消防訓練は年4回実施し、そのうち夜間想定を3回、昼間想定を1回実施している。また、高齢の患者や、眠剤を服用している患者が入院中で、少人数でいかに早く初期消火、安全に避難臨機応変に対応できる能力を養い、防火活動に役立てている。

いりょうほうじんざいだんせいじゅうじかい せいがとうびょういん
○医療法人財団聖十字会 聖ヶ塔病院

(理事長 末永 英慈)

所在地 熊本県熊本市

昭和22年10月の開業以来、時代の要求や地域のニーズに応え、現在の地域密着型のケアミックス型病院(一般病床と療養型病床または精神病床の混合型の病院)としてその体制を整えてきた病院である。

平素から消防用設備等の適切な維持管理に努め、消防計画に基づく消防訓練の実施及び防火・防災に関する職員研修を行うなど、全職員で火災予防の推進と防火思想の普及徹底を図っており、平成16年から現在に至るまで、消防法令の違反事項がない優良な防火対象物として「防火対象物点検の特例認定」を継続して受けている。

また、地元自治会、地元消防団及び関係機関と「徘徊者捜索・声かけ模擬訓練」を実施し、地域住民との連携を積極的に図り、事業所内の防火・防災意識の高揚のみならず、地域活動にも多大な貢献をしている。

いりょうほうじん せいわかい
○医療法人 清和会

(理事長 東野 裕司)

所在地 熊本県熊本市

昭和22年12月に東野診療所として開業後、昭和32年11月から現在地に移転。昭和51年7月に現在の医療法人清和会を設立。長年にわたり、地域医療への貢献に努めるとともに、熊本市の他区においても広範囲に様々な福祉サービスをシームレスに提供している。

具体的には、地域交流室の設置や、地域交流誌「たいざんぼく」、「なかま」等の発行など、地域住民に寄り添った各種事業を展開。こうした活動を通じて、防火・防災について地域住民との協働による防火・防災体制の確立に貢献している。また、平成10年5月の熊本市防災協会の設立時から協会員として、今日に至るまで本市における防火・防災思想の啓発活動にも積極的に参加している。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性（婦人）防火クラブ員

消防団員

○^{もり}守 ^た田 ^{のり}則 ^お雄

長万部町消防団 団長

現住所 北海道山越郡

昭和42年に入団以来、51年余の永きにわたり、団員の資質向上及び現場に即した技能の錬磨に努め、水火災発生時には、率先して消防活動に努めるその活躍ぶりとまじめな性格から、平成18年8月1日、長万部町消防団長に就任。

就任後は、消防団員の高齢化、並びに入団希望者の減少が深刻な問題とされるなか、新入団員の確保に力を傾注した。

特に、新たな取り組みとして平成24年度に女性消防団員や事業所消防団員の加入促進を実施し、平成27年度には機能別消防隊を発足させるなど、消防団の組織体制維持及び強化に大きく寄与し、平成29年4月、団員実員数が昭和59年の条例改正以来初めて、定員の150名に達した功績は誠に顕著である。

○^す周 ^{おう}防 ^{ひろ}彦 ^{むね}宗

由利本荘市消防団 団長

現住所 秋田県由利本荘市

昭和49年に入団以来、45年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。消防団長就任以降は、災害現場で自らが先頭に立ち、豊富な知識と経験で適切な下命により被害を最小限にとどめるなど、その姿は団員、地域住民、市当局からの信頼も厚い。また、平成26年に2名だった女性消防団員を12名まで増員、女性消防団員らとともに市内の保育園を訪問し、防災教室を開催する中で命の大切さ、消防団員のイメージアップを図り、将来を見据えた消防団員への確保に取り組んでいる。平成30年からは、秋田県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

まつ お き よ し
○松 生 喜代志

羽咋市消防団 団長

現住所 石川県羽咋市

昭和45年に入団以来、49年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成17年団長に就任して以来、消防施設の整備や防火思想の普及、団員の消防力向上に力を注ぐとともに、地域の防災力向上のため平成29年に自ら防災士資格を取得し、地域の防災リーダーとしても先頭に立ち地区防災訓練の実施や運営に尽力している。

そのような姿に刺激を受け、団内部においても防災士資格取得の機運が高まり、現在22名の団員が防災士資格を取得するなど、同人の活動は地域の防災力向上に多大な貢献、功績を残している。

また、平成20年からの2年間及び平成24年からの2年間において、石川県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

せ こ かつ のり
○世 古 勝 典

紀北町消防団 団長

現住所 三重県北牟婁郡

昭和58年に入団以来、35年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、ほかの模範である。

平成20年の団長に就任して以来、各分団の取り組みを調整・指揮するとともに、自主防災組織との連携強化を図っている。また豊富な知識、経験から地域住民に対する防災意識の向上、団員の資質向上に尽力している。平成29年の豪雨災害では、現場活動への的確な指示を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

また、平成22年・23年、26年・27年、30年・31年に三重県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{わた}渡 ^{なべ}邊 ^{しん}真 ^じ二

神戸市水上消防団 団長

現住所 兵庫県神戸市

平成8年に神戸市水上消防団入団以来、23年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安心確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成16年からは、消防団長として、新入団員の教育に誠心誠意あたり、多数の優秀な団員を育て消防団の基礎を固め、特に、女性消防団員や学生消防団員の入団を実現させ、消防団組織の発展に寄与した。

近年では、港湾地域という特殊な管内事情から、近隣企業の協力体制を確立するため、神戸市消防団協力事業所等表示制度において、従来の9団体に加えて2団体の加入促進に尽力し、地域防災力の強化に貢献した。

また、平成25年からは兵庫県消防協会評議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

女性（婦人）防火クラブ員

○安^あ部^べ千鶴子^{ちずこ}

秋田県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長
現住所 秋田県大館市

昭和48年、大館市餅田婦人防火クラブ入会以来、防火思想の普及、啓発を図るため、各種の防火運動や研修会に積極的に参加し、防火意識の向上に努めている。平成7年には同クラブ会長に、平成13年には大館地区婦人防火クラブ会長に、平成20年には秋田県婦人防火クラブ連絡協議会の副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、定期的に町内巡回を行い、「火の用心」を合言葉に家庭における火災予防を呼びかけ、地域の啓発活動の中核として大きな役割を果たしている。

春・秋の火災予防運動では、消防団と協力して、火災予防啓発のチラシを全戸配布するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○川^{かわ}野^の典子^{のりこ}

大分県女性防火・防災クラブ連合会 副会長
現住所 大分県佐伯市

平成元年佐伯市マミーズ鶴岡婦人防火クラブに入会、率先して地域での防火、防災活動に参加するとともに、地域住民の防火・防災意識の向上を図るため、広報活動を中心に多岐にわたる啓発活動を行い、平成18年には同クラブ会長に就任、平成20年には大分県婦人防火クラブ連合会（現：大分県女性防火・防災クラブ連合会）副会長に就任し、地域防災力の強化に多大な貢献をしている。

大分県婦人防火クラブ連合会（現：大分県女性防火・防災クラブ連合会）副会長就任後は、同連合会会長を補佐し、各種研修会の企画、運営に携わり、自らも各種研修会、防災訓練に積極的に参加し、防火、防災意識の向上に努めている。また、地域における防火、防災活動は関係団体との連携、協力が必要不可欠であることを認識し、各防火クラブと協力して、幅広い年齢層の住民に防火・防災意識の向上を図る広報活動、救急講習会を企画するなど、地域防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

うえ はら みよこ
○上 原 美代子

沖縄県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 沖縄県那覇市

平成16年度から、那覇市女性防火クラブ大嶺支部長に就任。率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成19年度には同クラブ副会長に就任する。平成21年度には沖縄県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任、平成31年4月から那覇市女性防火クラブ幹事として、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成21年に沖縄県女性防火クラブ連絡協議会副会長就任後も、県内の女性防火クラブ員リーダーの養成、女性防火クラブ間の情報共有の推進、地域自治会、婦人会を動員した初期消火、応急手当及び心肺蘇生法等各種訓練の取り組みなど地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	31	39
	団体	8	
消防功労者表彰	消防団員	5	8
	女性(婦人) 防火クラブ員	3	